

プランパーツ取扱説明書

*****|SI規定*****

株式会社 アイエスアイサービス

【埋め込み・ピッチ】

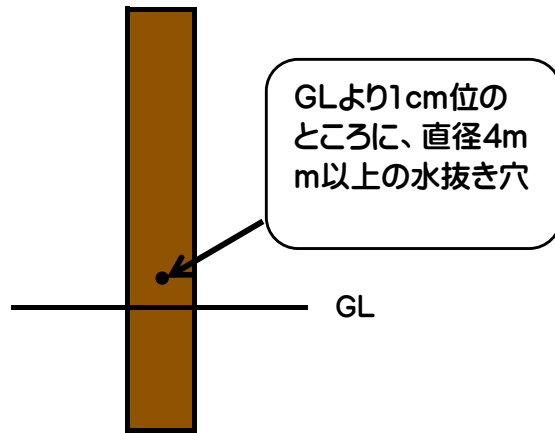
	地 上	埋め込み	ピッチ
30×40	H800まで	200	L2,000
	H1,200	200～300	L2,000※要鉄心
	H1,200～2,000	400	L1,000※要鉄心
75・90角柱	H2,000まで	300～400	L1,000
	H2,000～3,000	400～500	L1,000

【すきま】

- 10mm もっとも目かくし度が高く、ある程度の近い距離からの視線を遮れます。
- 15mm～20mm 一般的なサイズ。遠目から見た場合、ほとんどの視線を遮れます。
- 25mm～30mm 印象は、気持ち広めです。フェンスの枚数を減らしたい場合などにおすすめです。目かくし度は低いです。
- 30mm～40mm 視線を遮るためには適していません。

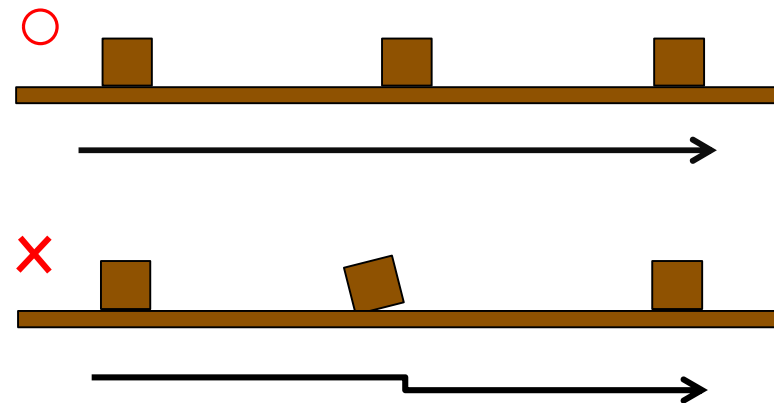
【水抜き穴】

※角柱・柱材を設置する場合は、必ずアルミ柱に5mm以上の水抜き穴をあけてください。



【柱の施工】

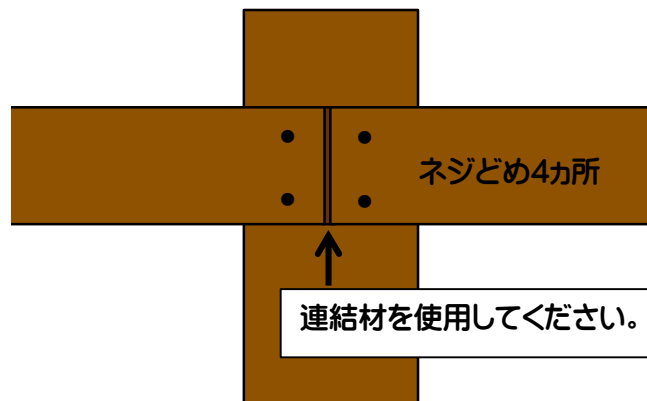
柱は、板を張る面をそろえてください。
ねじれたり、ふぞろいになると、きれいに仕上がりにません。



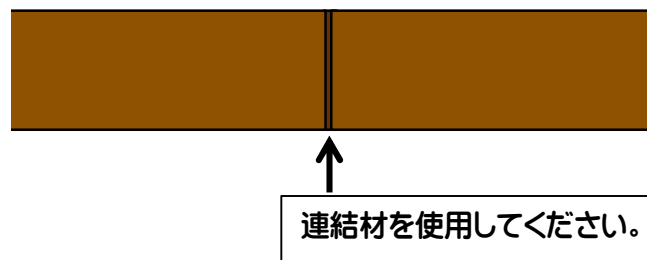
【ジョイント部】

ジョイント部には必ず連結材を使用してください。

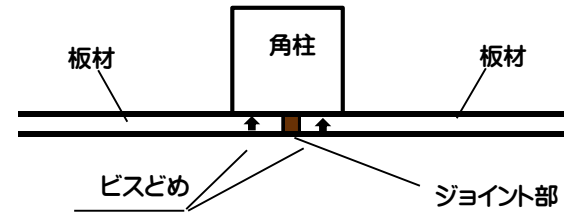
柱がある場合



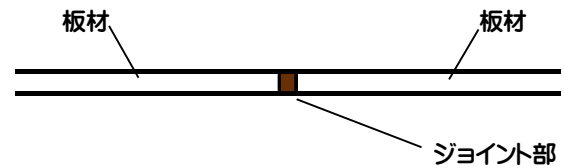
柱が無い場合



断面図

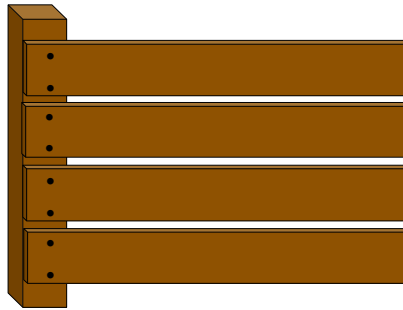


断面図

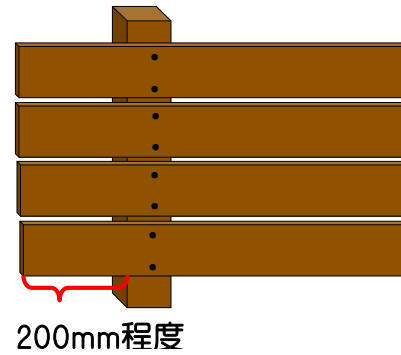


【端部について】

柱外面合わせ

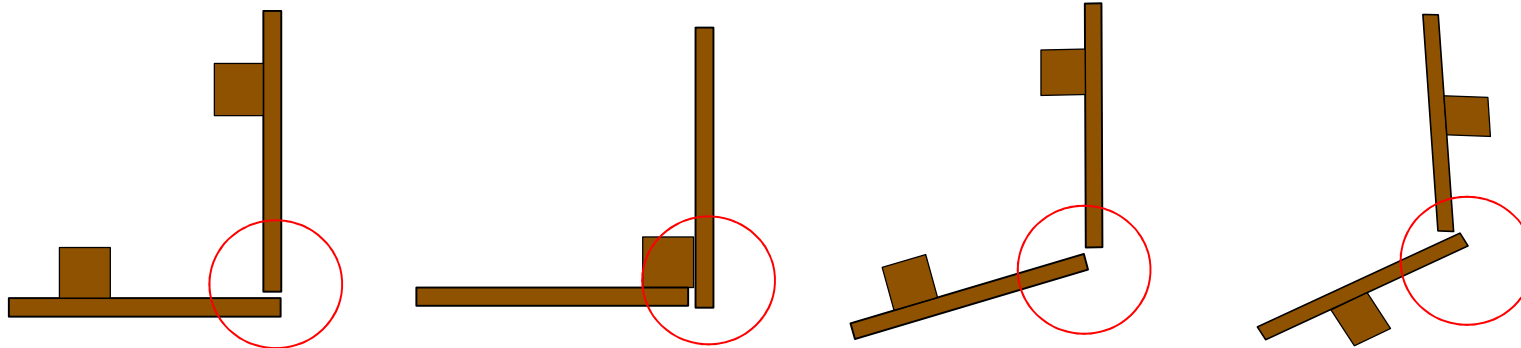


跳ね出し納まり (跳ね出し部分は200mm程度まで)



【コーナーについて】

板は温度上昇で伸縮しますので、つきあわせの場合、隙間を5mm程度あけてください。



【お取り扱い注意点】

- ※ プランパーツは目隠しフェンス用の部材です。
- ※ プランパーツは景観用に使用していただけるように作った商品ですので、強度が必要な防護柵・ベランダ柵、高所の手すり等には使用できません。
- ※ アルミ材や製品の切り口には、バリが残っている場合があります。手などにけがをする可能性がありますので取扱いには十分にご注意ください。
- ※ 風当りの強い場所、積雪の多い場所、地盤の弱い場所で施工する場合、控え柱等の補強が必要です。
(特に柱への固定は確実に行ってください。転倒などの事故の原因となります。)
- ※ プランパーツは必ず平坦な場所に平置きしてください。立て掛けたり、段差のある場所に置くと商品が変形する場合があります。
- ※ プランパーツは素材の特性上、温度差による伸縮・板の反りが発生する場合があります。
- ※ アルミ柱を立てる場合は、アルミ柱に必ず直径4mm以上の水抜き穴をあけてください。
- ※ 水が凍結する可能性のある地域では、アルミ柱の埋め込み部分に浸水防止剤(発砲スチロール・下部キャップ等)を入れるなど、凍害対策をとって下さい。(弊社プランパーツに浸水防止剤は含まれていません。)
- ※ 保護シートは製品保護の為(運搬時・保管時のキズ防止のため)厚めのものを使用し、はがれにくいように強めの糊で接着しています。
(はがれにくい場合は別紙参照ください。)
- ※ 重たいものを立て掛けたり、一点に衝撃を加えると破損の原因になります。
- ※ 汚れを落とす際には、せいひんひょうめんに傷がつかないように柔らかい布か、スポンジで水洗いしてください。
- ※ 汚れがひどく洗浄する場合には、家庭用中性洗剤を薄めて使用してください。
- ※ 製品の近くで火気を使用しないでください。
- ※ 使用に当たっては、強度や安全性について十分検討・確認の上製作してください。
- ※ 製作されたものの責任は、設計・製作されたお客様に帰属し、弊社の責任外となります。

《フィルム糊がプランパーツにこびりついた場合の対処方法》



100円ショップ等で売っているZIPPOライターオイルを使用するとPPフィルムの糊のベタツキが取れます。



直接ZIPPOオイルをかけて、布等で広げながら拭き取るとベタツキは無くなります。設置PPなら、布にオイルを湿らせ拭き取ってください。



糊のベタツキが取れた後は、濡れタオルでオイルは拭き取れます。
(オイルを塗った後はすぐに、水洗いか、濡れタオルでオイルを拭き取ってください。)



固くへばり付いたフィルムでもオイルをかければ、簡単にフィルムを取ることができます。